



長期留学体験談（フランス語圏）

2020年度 リヨン・カトリック大学（フランス）

R.T.(国際交流学科 2020(R2)年度留学)

友人と遊びに行ったり、たくさん旅行をしたりする中でフランスやヨーロッパの歴史に触れる、、、私が想像していた留学生活は送れませんでした。しかしコロナ禍での留学に価値がなかったかというそうではなく、別の価値があったと思います。

学習面では後期(2-5月)の最初の1ヶ月は普通の授業で、途中から全てオンラインに変わりました。私は文法より会話や聞き取りが苦手なため、この授業形態の変化のショックは大きかったです。しかしテレビ電話によって、よりわかりやすく発音したり聞き取るときの想像力が鍛えられたりしたのではないかと思います。前期(10-1月)も同じく最初の1ヶ月が対面授業で、第二波が来たことによりオンラインと対面の隔週になりました。大学側が前回の反省を生かして政府に抗議したからです。そのおかげで友人とも仲良くなり、クラスの雰囲気も良かったです。

生活面では、コロナウイルス第一波で全国の学校が休校・商業施設の休業、そして外出禁止令が下されました。しかし時間ができたことで、将来について真剣に考えるようになりました。自分自身、何も定まっていなことに気づき、留学を通して一年間親元を離れて生きることによって何か発見できればいいなと、留学を継続することを決意しました。そしてこの一年を通して、いろいろ人や価値観に触れて、自分がいかに狭い視野で生きてきたのかを痛感させられました。なぜ留学をすると価値観が変わるなどと言われるのか自分なりに考えた結果なのですが、結局人間は現状維持を望みます。すると自然と同じような人と集まり、環境が変わらないようにします。留学をすると、同じ日本人でも違うタイプの人に出会ったり、そしてもちろん違う国・年齢の人にいわば強制的に会うことができたり、その人たちの考え方を初めて知ります。留学する前は漠然と刺激を受けたいと言っていたのですが、まさにその目標を達成できました。

今回の留学になんの不満もないと言えば嘘になりますが、むしろまた来たいとすら思っています。終わってみれば一年でも物足りなく感じるので、半年と一年で迷っている方は是非一年を検討してみてください。



2019 年度 リヨン・カトリック大学（フランス）

M.I.(国際交流学科 2019(R 元)年度留学)

古くからヨーロッパの発展に重要な役割を果たした歴史のあるリヨンで、留学生活を送ることができたのはとても貴重な経験でした。語学力の向上を主な目的としながらも、フランスの歴史や文化の学びも深めることができ、同時に卒業論文を視野に入れながらテーマ探しやフィールドワークも行うことができました。

帰国までの DELF B2 取得と DALF C1 の受験を目標とし、継続することを意識しながら勉強に励みました。最終的には無事目標を達成することができましたが、振り返ると初めの三ヶ月に苦戦したことが印象に残っています。複雑な文法や単語の多さから改めてフランス語の難しさに直面しました。実際に話されるフランス語と学校でのフランス語ではスピードや会話が異なるので、学校外で話す環境作りをしていました。毎日課題があり、授業内容も多かったので授業後には友人と図書館で勉強をしていました。次第に慣れ、夏には集中講座を受けながら勉強を続けていましたが、後期に入りクラスが変わるとリスニングや読解の点数が伸び悩みました。一年の中でこのような波が何度ありましたが、その都度先生などにも相談しながら乗り越えることができました。

生活面においては、二年生の夏にパリでの短期留学を経験していたため問題なく留学生活を始めることができました。フランスには美しい景観や農業国ならではの食の豊かさが身近にあり、またエレベーターで乗り合わせた人との挨拶や、顔なじみの市場やお店ができた時に自然とコミュニケーションが生まれるような日本にはない人との距離感の近さを感じることができます。反面、週末のデモやストライキ、郊外と中心部の社会格差などを頻繁に目の当たりにします。これまで報道でしか知り得なかった事を実際に肌で感じると、その問題について真剣に考えたり、日本の時事にさらに目を向けたりするようになりました。

語学学習はマラソンのようである、と言われますがこの一年で身をもって体感しました。自分自身で伸びを感じやすい時期があれば伸び悩む時期もあり、また長期間自分の計画に沿ってペースを保ち継続することも不可欠でした。また、英語とは発音も文法も異なるフランス語を学びながら文化の全く異なる地フランスで生活することは、それまでの自分の視野の狭さに気がつけた機会であり、日本を客観視できるとても貴重な経験でした。これまでの発見と経験を今後の学びに生かしていきたいです。

